



## 春夏秋冬はどうしてあるの

### 地球はかたむいて公転している

地球は太陽の周りを、太陽の公転面の垂直な線に対して23.4度かたむきながら、1年に1回、公転(ほかの天体の周りを、決まった道すじで回る)しています。また地球は、北極と南極を軸にして、1日に1回、自転しています。

地球が太陽の公転面に対して、かたむいて回っているのです。同じ地方でも、ある時期には太陽の光をよく受け、また、ある時期には太陽の光をあまり受けない、という現象が起きます。

### 季節によって地球が受け取る熱の量がちがう

地球がかたむいて、太陽の周りを回っているのです。夏は太陽の高度が高くなり、一定の面積あたりに受け取る熱の量は、多くなります。また、冬は太陽の高度が低く、受け取る熱の量は、少なくなります。

この受け取る熱の量のちがいによって、夏と冬の気温の差ができ、夏は暑く、冬は寒くなります。

春と秋は、夏と冬の中間ぐらいの気温になります。

### 季節風の影響もある

暑さ寒さのちがいと季節の変化は、地球が太陽から受け取る熱の量のちがいによりますが、そのほかに、風の影響もあります。

季節のちがいによってふく風を、季節風といいます。日本の夏には、太平洋から南よりの暖かい風がふきます。冬には、シベリア大陸の方から北西の冷たい風がふきます。この季節風も、暑さ寒さに影響をあたえます。(監修・村山 貢司)

